

※一部非公開

令和4年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配布するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

我が国の食料自給率は、長期下降傾向をたどる中、近年は横ばい傾向で推移してきたが、令和 2 年度には前年度より 1 ポイント低い 37%と平成 5 年度に並ぶ過去最低の水準となった（下図参照）。このような中、令和 2 年 3 月に新たな「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、令和 12 年度までに食料自給率を 45%に高める目標が掲げられている。一方、多くの問題が我が国の農林畜産業を取り巻いており、食料自給率を高めるためには、さまざまな取り組みが必要と考えられる。

問 我が国の食料自給率が低迷する要因等について整理し、課題解決に向けてあなたの考えを 900 字以上 1,200 字以内で述べなさい。

非公開

図 昭和 40 年以降の食料自給率の推移¹⁾

¹⁾ 農林水産省ホームページ「日本の食料自給率」抜粋・一部改変
(https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html, 2021/9/19)

令和4年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

出題の意図

食料自給率の低い我が国は、多くの食料を諸外国からの輸入に頼っている。それゆえ、食料生産に影響を及ぼす災害や異常気象、家畜疾病の流行などの発生状況に加えて、輸出国の政情不安により食料の輸入が常に安定的に行われるとは限らず、将来に大きなリスクを負っている。

このように、我が国の農林畜産業における重要な課題である食料自給率に関する問題を取り上げることで、農林畜産業が抱える課題等を把握し、地域農林畜産業を担う人材として、将来の展望など未来像を持ち、幅広い視野で農林畜産業を捉えているかを問うものである。

亜熱帯地域農学科では、(1)国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人、(2)地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人、(3)農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人、をアドミッションポリシーとしており、上記の問題から、我が国の農林畜産業に対する志願者の理解度や関心の高さを評価し、農学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する思考力・表現力を含め総合的に評価する。